

北海道青年かくしんこんニュース

参議院選挙に向けた公開質問状の回答

参議院選挙の投票日が7月21日と迫っています。私たち北海道青年革新懇は、独自の視点から、各政党の政策や主張を聞いて、広めるために、公開質問状を各政党へ提出し、5つの政党から回答をいただきました。回答全文等は、全国革新懇のHPの青年コーナーに記載されています。

投票の参考にしていただくとともに、周囲の方にも投票をよびかけましょう！

※回答順に掲載。日本維新の会、みんなの党、新党大地、幸福実現党からは回答なし。

アベノミクスの評価

共産	×	アベノミクスを国民生活への毒矢と批判
社民	×	アベノミクスを国民に期待感を与える幻想と批判
自民	◎	三本目の成長戦略をいかに実行し、成果を上げるかにかかっている
公明	○	すべりだしは上々と評価。ただし今後注視が必要
民主	×	バブルで実需伴わずと批判

日本国憲法の評価

共産	○	9条だけではなく、豊かな人権条項をもっている
社民	○	9条は多くの尊い犠牲の上に世界の人々の平和の願いを現実化した「人類の宝」
自民	×	現行憲法は、連合軍の占領下において制定されたもの。国民の自由な意思が反映されていない
公明	○	戦争の経験を踏まえ、平和主義という人類の大きな理想を掲げたことを高く評価
民主	○	戦争の経験を踏まえ、平和主義という人類の大きな理想を掲げたことを高く評価

憲法改定について

共産	×	憲法前文も含む全条項を厳格に守り、各分野に生かす
社民	×	少なくともいま憲法を改正する必要はまったくない。9条改正は断固反対。
自民	○	自主憲法制定を党是とし、改正草案を提案している
公明	○	環境権など新たな権利を明示。96条先行改正反対
民主	△	基本理念を尊重、堅持、さらに強化・発展させる

外交安全保障政策	
共産	紛争が起こっても軍事に頼らない「平和的安全保障」を実践している ASEAN 方式を北東アジアにも広げる。
社民	国連憲章の精神、平和憲法の理念を指針にした平和外交を目指す。自衛隊は、「専守防衛」の理念を厳守させ、非武装の日本を目指す。
自民	関係諸国とともに連携した上で、秩序の維持に努める。ODA の活用や、対外的イメージの強化。「自衛隊法改正案」の早期成立、「国家安全保障会議」の設立など法整備をすすめる。
公明	日米関係の再構築、アジア外交の積極的展開、領土をめぐる問題では、毅然たる対応による戦略的外交、「核兵器禁止条約」の提案や非核三原則の堅持、「人間の安全保障」分野へ予算を重点配分など。
民主	安保を基軸に、深化させるとともに、「共生」実現に向けたアジア外交を展開し、国際社会の平和と繁栄に積極的に貢献する。

日米安全保障条約の是非		
共産	×	安保条約に代えて対等・平等の日米友好条約を結ぶべき
社民	×	日米安全保障条約は歴史的な役割を終えている。将来的に平和友好条約へと転換すべき
自民	○	日米安保については堅持
公明	○	日米安全保障条約を堅持
民主	○	日本の外交安全保障の基軸は日米安全保障条約であり、この基軸を深化させる

「北海道の青年」がおかれている現状の認識と、青年に向けた政策等の将来のビジョン	
共産	現状：貧困率・ワーキングプア率で全国平均を超えていること、高校生就職率や大学進学率が全国的に見て低いことなど。ビジョン：中小企業の支援強化と時給 1000 円に引き上げ、高等教育の無償化・給付制奨学金の創設など。
社民	現状：非正規雇用の増加、平均賃金の低下と相まってアベノミクスのガソリンや燃油の値上りなど。ビジョン：自己責任型から「非正規ペアが子育てできる社会」に転換。
自民	現状：幅広いが、雇用に絞ると、学生を取り巻く就職環境は最悪期を脱したもの、依然として厳しい状況である。ビジョン：雇用制度の再調整、人材育成、就労支援。
公明	公明党のユースビジョンをもって回答
民主	現状：置かれている環境や関心事は様々。大学等の授業料減免や「給付型奨学金」の創設、就労支援の拡充など、未来を担う「人」への投資を積極的にすすめる。

全国革新懇の HP に掲載している回答全文には、上記の回答の全文のほか、各政党の理念や北海道の青年に呼びかけたいことなども載っています。ぜひ、ご覧下さい。

また、別紙の「アピール～参議院選挙に向けて～」もご覧下さい。

アピール ～参議院選挙に向けて～

私たち北海道青年革新懇事務局は、私たち青年の願いである
『憲法が活かされた自由で豊かで平和な暮らし』
を実現するための選択・投票を望みます

今回の参議院選挙も、昨年の総選挙と同様、それ以上に大切な争点が多くあり
将来が大きく変わる重要な意味合いを持っています
しかし、残念なことに、「投票したってどうせ変わらない」
と思っている人々が多くいることも事実です

みなさんに考えて欲しい

これからも原発の事故におびえながら生活したいですか？
これからも収入が減り負担が増え続け、一部の人の豊さのための社会にしたいですか？
声が届かず、助け合わない・助けあえない社会にしたいですか？
名実ともに軍隊をつくり、戦争をして殺し合いをしたいですか？
本当にアメリカの理不尽な要求に従い続けなければならないですか？

今回の参議院選挙は、日本がどちらを目指すのかを決める大切な岐路です
今の国会議員を選んだのは私たち有権者です
投票したってどうせ変わらないのではありません
投票しなければ、望んでいる社会には変わりません

私たちは

ひとりひとりの暮らしが豊かになり、平和な日本になるためには
今の憲法が活かされ、日米安保条約をなくすべきと考えます

多くの青年が、各政党・各候補の政策を比較検討し、過去の各政党や立候補者の言動を振り返り
これからの私たちやその子どもたちのことを考え
願いを実現するための選択をすることを心から呼びかけます

2013年7月17日 北海道青年革新懇 事務局一同

革新懇の3つの共同目標

1. 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
2. 日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
3. 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。